



議会だより

# ピッツシリ

第 79 号

北海道苫前郡羽幌町南町

TEL(0164)62-1211(内線510)

FAX(0164)62-1278

発行 羽幌町議会

編集 議会広報特別委員会

発行日 平成23年1月26日



中央公民館の「凧」展

▶P2…新年あいさつ

▶P3…一般質問

▶P2…12月定例議会

▶P6…常任委員会報告

議会日誌

〔11月〕

2日・総務産業常任委員会

22日・議会運営委員会

・文教厚生常任委員会

29日・議員全員協議会

・第6回羽幌町議会臨時  
会

・医療問題調査研究特別  
委員会

・文教厚生常任委員会

〔12月〕

3日・議会運営委員会

9～10日・第7回羽幌町議会  
定例会

・議員説明会

〔1月〕

13日・議会広報特別委員会

19日・議会広報特別委員会

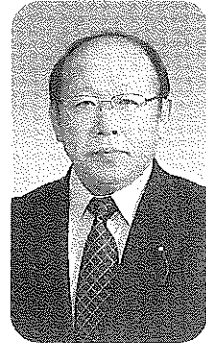
町政はあなたのために！  
議会を

傍聴しましょう！

■次回の定例会は  
3月です。

# 年頭のご挨拶

羽幌町議会議長 橋本修司



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より町議会に対するご指導、ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年はデフレの影響や雇用情勢の悪化など依然として混乱の一年であり、また一方では、大雨による災害、猛暑による被害など異常気象の影響があった年でもありました。

羽幌町でも農業においては作物全般にわたり減収し、漁業では漁価安となり、厳しい年となりました。商工業ではいまだ長引く景気の低迷により消費の落ち込みなどにより深刻な状況になっております。こうした中、本町では特別養護老人ホームの第二期工事

も完了し入所されている皆さんには新しい施設で快適な新年を迎えられたことと思えます。

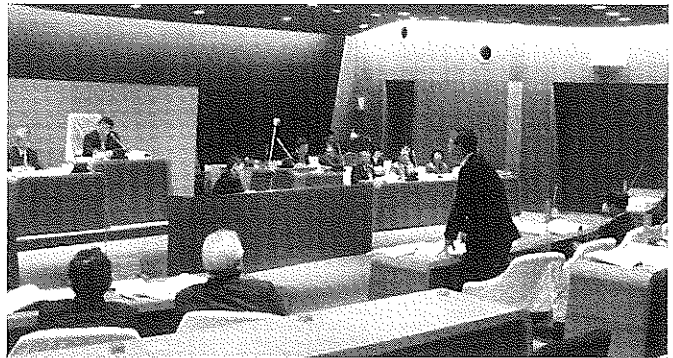
今後予定されている広域ミックス事業、葬斎場の建設など財政を圧迫する事業が続くと予想されます。

行財政運営の厳しさの増す中、地方分権の進展に伴い、自治体の自主的な決定と、責任の範囲が拡大した今日、議会といたしましても意思決定機関として、その持てる権能を存分に発揮し、安心して暮らしていける町づくりをしなければなりません。

我々議員一同は、その責務の重大さを再認識するとともに、我が町の更なる発展の為尚一層の努力をしてまいりますのでご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

終わりになりましたが、町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

# 12月定例会



## 報告

- ・平成22年度定期監査報告 (第2次)

## 成立した主な事項

- ・羽幌町医師研究資金等貸与条例
- ・平成22年度羽幌町一般会計補正予算 44,188千円追加
- ・平成22年度羽幌町国民健康保険事業特別会計補正予算 15,439千円追加

- ・羽幌町過疎地域自立促進市町村計画(平成22年度～平成27年度)の変更について
- ・羽幌町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

## 閉会中の各委員会の調査審議事項

## 総務産業常任委員会

- ・産業振興について
- ・財政状況について
- ・緊急を要する所管事項について

## 文教厚生常任委員会

- ・ミックス事業(し尿処理)について
- ・緊急を要する所管事項について

## 議会運営委員会

- ・本会議の会期及び日程に関する事項について
- ・議会の運営等に関する事項について
- ・議長の諮問に関する事項について

# 町行政の課題を問う!!

## 一般質問

### ・中心市街地活性化について ・福祉と教育について ・まちづくりについて

磯野 直 議員

**中心市街地活性化について**  
町長はこれからのまちづくりについて、生き生きとした若者と産業の振興を掲げ、その中に中心市街地の活性化を掲げている。

平成18年の議会において私は旧営林署跡地の有効利用について質問をし、そこに老人向けの共同住宅を建設することによりそれが中心市街地の活性化に繋がると提案しました。その際町長から、居住人口を増やすと言うことでの街中住宅を基本にして検討をしていくと言う答弁がりましたが、しかしいまだに具体案が示されていない。

これまでどのような検討がされ、今後どう進めていくのか。

**【町長】**これまで議会の皆様と高齢者の生活特性に配慮した高齢者世話つき住宅について検討を進めたが敷地面積の問題や、住宅マスタープランの変更や新朝日団地の整備計

画に影響を与えることなどから建設は難しい状況になって

いる。

**【質問】**平成20年の議会においても、森議員、伊藤議員から同様の質問がされているがその際「居住人口を増やすことを基本に民間事業者による土地利用や売却、分譲などを検討している」と答弁されている。

私の聞きたいのは三度も同じ答弁をされているのにその後どのような論議がされたのか議会に何の説明もなく、今日の答弁で突然、建設はできないというのは納得がいかない。「民間の活力を利用して」という話はどこへ行ったのか。

**【町長】**20年以降の動きについては把握できていないが、委員会への報告はしなかったととらえている。指摘は真摯に受け止めたい。

### 福祉と教育について

町長は共生福祉と教育現場

の整備、という目標の中で、小学校校舎改築と保育園の環境整備の方向を定めると言っている。これについては先般の文教厚生常任委員会においても、これからの児童数の推移や町の財政を考えたとき、小学校と保育所の複合施設として建設するという選択肢もあるのではないかと。またその際のメリットデメリットを示して欲しいと担当課に提案した。これについて町長の考えは。

**【町長】**小学校については、耐力度調査も終了した事からその結果を見て具体的な改築計画を立て、建設を目指す準備を進めたいと考えている。財源については交付金を見込んで

いる。

保育所については運営補助が廃止され、建設整備補助もなくなったことから、厳しい状況にある。小学校と保育所の併設については、設置目的が異なることから共有利用が難しい。運営面でも保育時間の問題や感染症対策、給食の問題などがあることから現時点での併設は考えていない。

**【質問】**私のいいたいのは、何が何でも同じ建物の中にと

言うことではなく、たとえば同じ敷地内に建ててもグラウンドを共有できるのではないかとはいいます。ただこの保育所の建替えについては、担当課では19年5月の委員会で、「保育所の建設場所として旧役場跡地を想定している将来的には幼稚園機能と一体化しても面的には十分であり近隣に中央公民館やレストパークがあるなど、公共施設としての利便性も高い」と図面まで示して説明された経緯がある。

ところが先般、町側と農協との間でその土地が売買された。いったい委員会では説明はなんだったのか。

**【町長】**このことについては、検討委員会が設置されている論議されたが、基本的にはそういう結果が出された。我々内部の検討が足りなかった。議会の方々には、話の行き違いと言うか、我々の不備を露呈してしまったり失礼な形になった。反省している。

**【質問】**前段の営林署跡地の件もそうだが、議会や委員会でもどんな答弁をしようとか後から変えてもいいというのでは、

議会軽視ではないか。あの土地がだめなら他に代案はあるのか。

【町長】考え方などまとまりはない。

### まちづくりについて

先般の公開討論会で、自治基本条例について問われた際に、町長は「理念には大賛成である、今このことについて論議をしている」と言われたが、どのような論議がなされているのか。

【町長】これについては、全国的に制定をする自治体がふえ、町村会や行政職員の間でも話題となる機会が多くなってきている状況を捉えたものである。

【質問】公開討論会には多くの町民の方々が興味を持って聴きに行かれたと思う。その中での自治基本条例と言うのは非常に大きな問題だと思う。相手の飯田氏は「勉強不足なので発言は許してください」といわれた。それに対して、町長は「職員が話題にしていることを言っただけ」と言う。これは羽幌町の有権者に対して非常に失礼だと思う、猛省していただきたい。

## ・特別養護老人ホーム 「しあわせ荘」の雨漏りについて

大山 新太郎 議員

【質問】特別養護老人ホームの屋根鉄板については、特許出願中の複層防水工法が在来工法より信頼性がかなり高いということを採用されたが、築後1年も経たないうち春先と、7月、8月の3回もの雨漏りがあった事は考えられるものではないでしょうか。

春先の雨漏りに対しての補修の結果とその後経過についてどの様にされたのか。7、8月の雨漏りの原因と補修についてどの様に対応されたのか。また、町として今後この問題についてどの様に考えているのか伺いたい。

【町長】特別養護老人ホームの改築工事は、11月10日に二期工事の多床棟が完成し引越しを終えました。

この後旧棟の解体を行い、来年度は、車庫建築及び外構工事を施工して完成となります。

質問の雨漏りについてであ

りますが、21年11月に完成しまた、一期工事のユニット棟及び管理棟において春先から11月にかけて、「すが漏り・雨漏り」が発生したことから、

その原因の調査及び雨漏り箇所の鉄板の張り直しや、シールのやり直し等を行い対応してきました。その後も原因箇所は違いますが、雨漏りが発生し同様の補修を行ってきたところです。現在は発生しておりません。

これら雨漏りの原因は、施工不良が原因と考えられたことから、業者の瑕疵責任で補修を行った。

町としての今後の考えであります。漏水管所については、その都度原因を調査し、当該箇所の補修や張り替えを業者の責任で行ってきたが、今後も同様に対応をしていただくよう考えております。

最後に当該工事の信頼性が高いとの判断から採用した工法ですが、一連の事態が発生

したことを重く受け止め、今後における教訓にしていきたいと考えております。

【質問】雨漏りの原因は施工不良ということから漏水管所を業者の瑕疵責任で補修したとのことであるが、その瑕疵責任は、2年という有効期限があると思うがどうか。

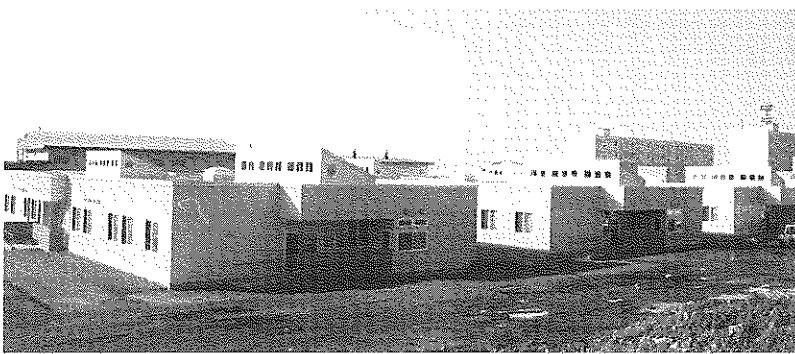
【質問】「町民の素晴らしい財産」と町長は再三繰り返しているが、瑕疵責任が2年ということであれば、業者としては、受け渡し後2年が経過すれば、後は町側で補修するであろうとも考えられる、その辺のところを町としてはどう考えているのか。

【建設水道課長】町がこの度の工事を施工するに当たって共同企業体の中で契約書を結んでおります。その条文の中に「その瑕疵が請負側の故意または重大な過失により生じた場合には請求する期間を10年とする」とあります。

この事については、先般来共同企業体及び設計事務所を交えその対応を協議しているところです。

【質問】雨漏りが多いといわれるところは、ユニットの3列の真ん中の部分のようだがその部分の屋根を張り替えることを求めることはできないものか。

【建設水道課長】それも含め協議をしていきたいと考えています。



【建設水道課長】瑕疵責任は通常2年です。

【質問】町民の財産です。町民の不利益にならないよう理事者の賢明な判断を期待したいが如何ですか。

【町長】町民の多額な税金を使っての特別養護老人ホームの建設であります。未永く財産として守っていかなければなりません。そうした立場から、この度の問題非常に残念な気持ちであります。

担当課より話があったように、どこに本当の責任があったのかも含め、今話し合いをしているところですが、財産を守るという立場には変わりはありません。そうしたスタンスで関係者と話し合っています。

【質問】町民が一日も早く安心して施設を利用できるように体制をつくっていただきたい。また、関係者との話し合いの結果を議会や住民にも知らせて頂きたいと思うがどうか。

【町長】これだけ大きな問題になっていることであり、十分に住民の皆さんに情報を伝えていきたいと思えます。

## 町長の選挙公約 (5つの目標と60の約束)について 羽幌町商工会に対する町の 支援制度について 森 淳 議員

○町長の公約である、身の丈に合った財政構造の構築、民間感覚の導入、職員からの提案制度の活用、町民サービスを基本に役場内の経費の徹底削減について、具体的な政策としてどう実現させるのか。

商工業の振興について、商工業は就業者構成比で約66.5%、所得構成比で55.3%を占める羽幌町最大の産業である。商工業の繁栄が町の盛衰のかぎを握っている、積極的政策を打ち出す必要があるが、どう考えるか。

羽幌町商工会は、大変厳しい運営を強いられており、現状のまま推移すると今後の事業遂行に支障を来す可能性が大であります。町としても補助制度の見直しなど新たな支援制度を検討すべき時期が来ていると考える。町長の見解は。

森 淳 議員

【町長】身の丈に合った財政構造の構築について、今後も相当厳しい財政運営を強いられる、行財政の運営は、慎重な中にも効果的な事業の執行に務め、事業については、必要優先度及び財源確保などを考慮し、慎重を期していく。将来に悔いを残さない健全な財政運営を確立する。民間感覚の導入について、町民と行政の役割の見直しや町民の目線に立った行政運営を念頭に置き、民間への業務委託や指定管理者制度の導入を積極的に進めてきた。きめ細かな町政懇談会の開催や町民提案制度、地域情報連絡員制度など、町民協働による町づくりを第一に取り組んでいく。

職員からの提案制度の活用について、職員の創意工夫や企画、提案による事務事業の改善とコスト削減を進めており、職員の意識と資質の向上

に果たす役割は大きいものと考ええる。

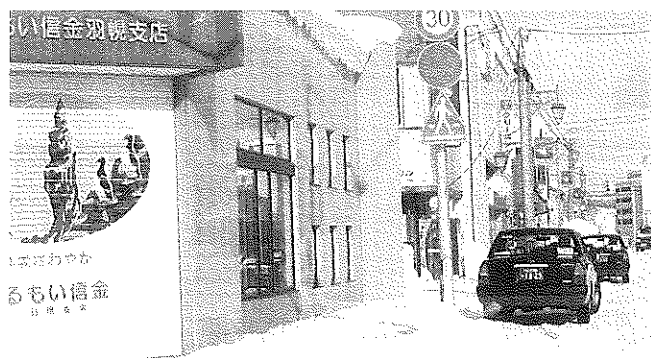
町民サービスを基本とした役場内の経費の徹底削減について、効率的な行財政の確立と運営に加え、行政評価制度に基づき、行政全般にわたり政策、施策、事務事業の評価を毎年度実施し、コストの把握と削減を進めるとともに、町民の満足度を重視したサービス提供に努めていく。

商工業への積極的な政策について、振興策は産業全体をとらえた中で推し進めていく。商工業の振興は町の活性化でもあることから、元気な羽幌を目指し事業を行う。

2件目、商工会に対する支援制度について、新たな補助については、商工会の経営改善やこれらの収支見直しを立てた計画的な運営も必要であり、今後十分な協議を重ねながら対応をしていく。

【質問】特別養護老人ホームの件では、JVは町内業者で組まれたが、下請は、100%近く、他町村の業者が入ってきた。地元の活性化について不十分な部分もあったのではないか。

【町長】特別養護老人ホームの改築問題は議員がご指摘したとおりだ。行政として勉強になったと思っている。基本的に地元地域業優先の考え方は変っていない。今までの基本を崩さずに取り組んでいきたい。



【質問】商工会の運営補助について、羽幌商工会は基金を繰入金引き当てとして、予算を組んでいたがその基金が、枯渇状況にある。現状の補助体制のままだと予算が組めない可能性もある。商工会は自

己財源を持ちづらい、このままだと商工会自体が立ち行かなくなる可能性がある。町長の認識と、考えを聞く。

【町長】議員が説明されたことは、書類上も含め理解している。補助をしないということではなく、事務方と商工会側が協議しながら補助を申請するための努力を続けている。今後の進展を待つ。

【質問】管内他町村比較では、羽幌町は制度、金額共に厳しいと思う。商工業が圧倒的に多数をしめる当町では最低限他町村並みの政策を実行すべき、また事業補助中心から固定費確保を優先した制度にすべきと思うが考えを聞く。

【町長】今現在ここまでの考え方を持って話し合いをしているという現実はないが、今後、我々の一つの考え方として職員のご提案を、考えの中の一つに入れてみたい。



## 常任委員会

# 所管事項調査

## 総務産業常任委員会

(平成22年11月2日開催)

### 観光事業の現状

#### とついで

○資料に基づき概要説明を受ける。

- ・サンセットビーチは昭和62年に整備し、海水浴客は平成3年に37万人という最高の賑わいがあった。その後、平成8年に10万人を切り、現在は2万人を切る状況になっている。
- ・今年はテント料金、マリナーポートを無料化し海水浴客の増加を図る企画をしようと思っような結果が残せていない。
- ・留萌管内の入込みは11万9,715人で、臼谷海水浴場以外は全て落ち込んでいる。
- ・施設は設置後20年を経過した設備が多く今後の計画的な補修が課題となっている。

やPR事業となっている。

【質問】朝日公園の菖蒲が劣化しているという報道があった。現状はどうなのか。今後それをどうしていくのか。

【回答】今年は余り良い菖蒲を咲かせることができなかった。維持管理について余り行届いていないということでは反省している。基本的に言えば草をしっかりと採る。中間で堆肥等をしっかりとやりながら菖蒲の育成に努めていくということでは八紘学園関連の研修を受け、今後の実践に生かしていく。

【質問】合宿事業で観光誘致事業というのはスポーツ観光事業として捉えていると思うが、窓口が社会教育課なのか、商工観光課なのかよく分らない。現在のどの様な形で整理が着いているのか。

【回答】合宿誘致事業、スポーツ関連、文化関連も含めた形で窓口は社会教育課である。実施については羽幌町全体で対応するという中でスポーツ、プラス観光は商工観光課が主にやる、文化的には社会教育課と考えているが、その事業によっては2課で連携しながら対応している。

【質問】観光に関する情報を提供するツールはどういうものがあるのか。

【回答】パンフレット、ホームページ、雑誌へのPR、北海道観光機構や各団体への資料提供。今年行ったのはSTVラジオ関連の放送。

(平成22年11月2日開催)

### 町道の除排雪

#### 計画とついで

○資料に基づき概要説明を受ける。

・平成19年度から全路線を民間業者に委託している。当初から民間業者による組合的なもの設立を望んでいたが、現時点では設立に至っていない。

・夏期間の道路維持管理については既に一部の業務を民間委託をしている。

・今後の対応、基本的な考えとして町道の全般的な管理業務を通年で組合設立後に委託したい。

・今年の冬はこれまでの業者と継続して除排雪業務を随意契約し対応したい。

・夏期間の業務内容は道路バ

トロール、路面清掃、路面整

正、路肩の草刈り、街路樹及び植樹マスの管理、橋梁、防雪柵の管理、車輛の維持、その他となっている。

・平成23年3月までに組合設立を目指し、町も積極的に関わって行きたい。

【質問】組合を作るという事で努力したが設立に至っていない。明年3月までに組合設立を目指し、夏冬全般的な管理業務を過年で委託したいとの事だが、これまで何年も出来なかったのが、今後5ヶ月余りで出来るのか心配。

【回答】これまで、業界に話しをしてきたようだが、現実には設立に至っていない。民間の事なので行政が何処まで入れるかという難しい部分もあるが、行政も只組合を作った貰えればという様なものか考えがあったのではと思う。今後は、他町村(先進地)の情報を得、どういうところまで行政が入りお手伝い出来るのか確認し、積極的に関わっていく。

【質問】組合組織は法人格のある組合か。

【回答】中小企業等協同組合法に則った組合の設立を目指



している。

### その他(町道陥没に伴う空洞調査の結果報告について)

○資料に基づき説明を受ける。

- ◎南6条通、歩道部陥没及び公園通北線、車道部陥没。
- ・平成22年9月8日、9日に地下レーダーによる調査を実施。

・現段階で空洞と判断される箇所は見られない。

・路盤の凍上抑制層の深さで波形の乱れが何カ所もあり、それを明確にするためには地下レーダー探査では出来ないため、今後、何カ所かを掘削し目視による確認を実施する方向で検討している。

## 文教厚生常任委員会

【10月6日開催】

### 特養ホーム改築工事等の進捗状況について(現地視察)

\*多床棟内フロア、各室、浴場等を視察、各箇所の工事状況及び機能について確認。

\*ユニット棟の雨漏り箇所と給湯ボイラー室を視察。

9月末現在の工事の進捗率は、総体で約85%との説明を受けた。

【11月22日開催】

### 羽幌小学校耐力調査について

担当課より資料に基づき説明を受ける。

\*調査期間、8月3日より9月30日まで。

\*調査内容、体育館・給食施設を除く職員室及び校舎を建築年度毎の5棟に分け、構造耐力、保存度、外力条件の3点について実施。

【質問】調査費用はどれくらいか、調査の方法はどの様に行われたのか。

【回答】費用は474万6千円で委託。調査の方法は棟毎に構造面に穴を開け、抜き取った部材を調査する手法。

【質問】改築に際しては、保育園その他の施設の併設などは考えているのか。



【意見】校舎の設計上多目的教室等様々な教室配置などが予想されるがどの様な校舎にするのかを早めに示し検討されることを特に望みたい。

【回答】計画段階では、町民を含めての検討委員会等が設

置されると思う。そうした機会に常任委員会の意見も聞き検討していきたいと考えている。

## 全国学力

### 学習状況調査

#### 結果について

担当課より資料に基づき説明を受ける。

#### \*調査の目的

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し教育施策の成果と課題を検証し改善を図る。

#### \*調査対象

小学6年と中学3年、全国で約30%の学校を抽出。羽幌町は小・中学校各1校が対象となった。

#### \*調査内容

基礎的内容を問う国語A、算数・数学A。応用・活用を問う国語B算数・数学Bの教科と学習状況である。

#### \*調査の結果

◇小学校 国語A・B共に全道平均と比べ平均点が下回った。算数A・Bは共に全道平均に近い正答率を示したが、平均点は下回った。

国語・算数共に基礎的な学

習が定着していない児童が多く、指導の改善が必要。

◇中学校 国語A・B及び数学A・B共に全道平均を下回った。

国語に於いては、自分の考えを明確に話したり、情報を的確に聞き取る能力が劣る。数学に於いては無回答が目立った。

◇学習状況では、小・中学校共に学習への意欲が低く、生活面では全道の傾向と同じく家庭での学習習慣が確立されていない。

【質問】北海道は全国47都道府県中45か46位である。その全道平均よりも下回っていることは大きな問題と考える。学力調査も4回目であるが、教育委員会や学校では、この結果をどう受け止めているのか。

【回答】教育委員会としても深刻に受け止めている。校長会や教頭会の会議などでその対策について話し合い強く要請をしている。

学校に於いても朝学習などの時間を設定し、学力向上に努めている。

【意見】最近の子供達の中に

競い合うという姿が見られない。みんなが平等という傾向が学習面にも影響しているのではないか。

【意見】小学校段階での学力が最も大切と思う。結果を父母に知らせているのか。家庭での学習の大切さをしっかりと伝えるべきでは。

【意見】中学校では進学に向けての補習授業なども実施していると思う。それらの活動を日常化していくことも大切と思う。

【回答】実情を十分に分析をし学校現場と十分に話し合いをしていきたい。

以上、学力向上に対し教育委員会及び学校での今後の対応について強く期待して終了した。

#### 【11月29日開催】

### スキー場の

#### 利用状況について

担当課より資料に基づき説明を受ける。

\*スキー場は開設以来11年を経過し最近の利用状況は徐々に減少の傾向にある。

リフト利用者は

・19年度約7万1千人  
・20年度約6万3千人  
雪が少なくオープンが遅れた  
・21年度約5万4千人  
2月に降雪があった。  
\*リフト料金は、道北、近隣スキー場に比べ安いと考える。  
以上の説明を受け質疑に入る。

【質問】料金表に示されている金額を見ると確かに安いのが、親子で楽しんだり、また子供の利用度を見るとき結構な金額となる。

【回答】シーズン券を利用し、頂ければ相当の格安になるので、是非利用願いたい。



【質問】現在のリフト券以外に1ヶ月券などを発行してはどうか。

【回答】今シーズンは無理としても利用者増加のため今後検討をしてみたい。

## 『あとがき』

いつも「議会だより」ピツシリをご愛読いただき、心より感謝申し上げます。

議会広報特別委員の任期も残すところ3ヶ月余りとなりました。この間、皆様に「議会だより」を身近に感じていただけるよう試行錯誤を重ねてきました。予算が限られている中で、議会での議論の真意が十分に伝わっているか、もっと工夫すべき点はないかと、いまだ自問自答しております。

議会の役割は行政のチェック機能が最大の任務です。「議会だより」が皆さまに一番分かりやすく、信頼されるものでありたいと願っております。皆さまには「議会だより」をファイルして、議論の推移を見守っていただき、ご意見をいただければ幸いに思います。ありがとうございました。

(F)

☆議会広報特別委員会

委員長 船本 秀雄

副委員長 室田 憲作

委員 伊藤 昇